

(様式 1-3)

福島県 (本宮市) 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 30 年 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	3	事業名	水道水等放射能検査事業		事業番号	(3)-23-3
交付団体	本宮市		事業実施主体 (直接/間接)		本宮市 (直接)	
総交付対象事業費	(864) (千円) 1,296 (千円)		全体事業費		(864) (千円) 1,296 (千円)	
帰還環境整備に関する目標						
原発事故の長期化に伴い、市民の放射線量への関心は高く、内部被ばくの可能性がある水道水の放射性物質検査を実施することで、水道水の安心・安全を確保し内部被ばくに対する不安の払拭を図る。						
事業概要						
立石山浄水場にて、放射能簡易分析装置を用いた水道水の放射線量の測定を実施し、放射能分析機器について年 1 回の点検校正業務を行なう。						
(1) 測定開始時期 平成 30 年 4 月から開始						
(2) 測定場所 立石山浄水場 住所：本宮市岩根字立石山 3-5 連絡先：0243-39-2417						
(3) 事業費 線量測定機器校正委託料：432 千円						
「本宮市第 1 次総合計画」 ・共に支えあうやさしいまちづくり 心と体の健康づくりの推進 放射線リスクの軽減						
「本宮市復興創生計画【第 1 版】」 施策 1-2 健康対策 (2) 市民の食の安全確保 水道水モニタリング検査						
※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください						
当面の事業概要						
<平成 30 年度> 立石山浄水場にて、放射能分析機器を用いた水道水の放射線量を測定する。 平成 30 年度運営費：432 千円						
<平成 31 年度～平成 32 年度> 継続しての実施を予定している。						
地域の帰還環境整備との関係						
水道水から放射性物質が検出される場合があり、被ばく低減対策の措置を講じることで、市民の放射線の健康への影響についての不安解消を図り、地域の再生加速化を図る。						

関連する事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	